

平成21年度ごみ処理実績

ごみの減量と分別にご協力をいただき、ありがとうございます。

平成21年度のクリーンセンターへのごみ搬入量は、燃やせるごみと資源ごみはほぼ前年度並みですが、燃やせないごみは増加となりました。増加の原因は、災害で発生した廃棄物などの受け入れです。しかし、これらを除いた燃やせないごみは189トンであり、確実に家庭でのごみ減量化は進んでいます。

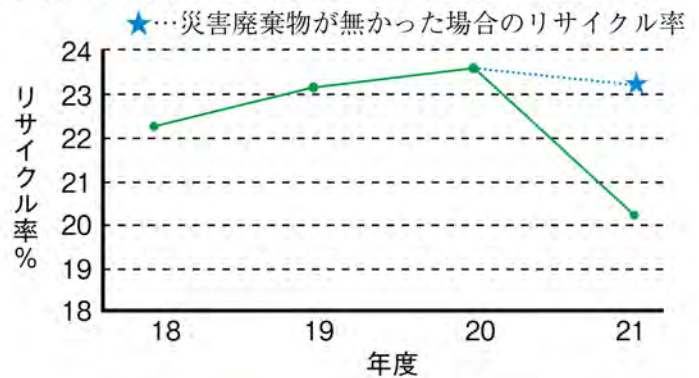
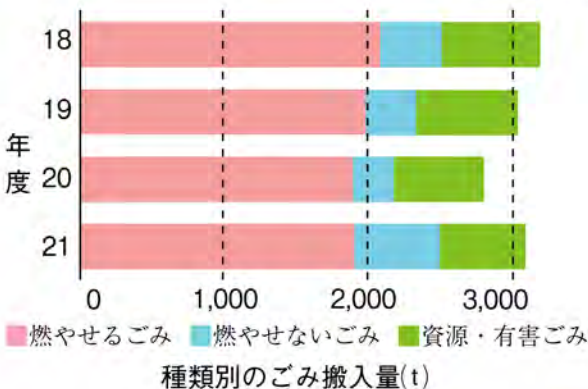
ごみの分別は、ごみ処理費用が削減されるほかごみの減少につながります。また、資源ごみの売却収入は、生ごみ処理機やコンポスターへの助成金、資源ごみの選別作業の委託費として使われています。

今後ごみの減量と分別の推進にご協力をお願いします。

●ごみの種類別搬入量・リサイクル率・資源ごみ売払い収入の推移

	燃やせるごみ (t)	燃やせないごみ (t)	資源・有害ごみ (t)	リサイクル率 (%)	資源ごみ売払い収入 (千円)
平成18年度	2,087	441	687	22.2	10,929
平成19年度	1,980	362	680	23.2	12,157
平成20年度	1,903	259	632	23.6	14,054
平成21年度	1,906	585	605	(23.2★)20.2	8,172
平成25年度の目標	1,715	295	700	26.0	

※目標（平成25年度）は、標茶町ごみ処理基本計画で定められています。



①資源物収集車で集められた資源ごみは…



②クリーンセンターに持ち込みます



③人手や機械で選別・圧縮して保管します

リサイクルセンター
缶類、ペットボトル

機械で選別・圧縮

売却

衣類、紙パック

人手で選別・袋詰め

売却

資源ストックヤード

新聞、雑誌、段ボールなど

売却

ガラスびん、
その他プラスチック

リサイクル工場
へ処理委託



標茶町ごみ処理基本計画を策定しています

地球温暖化が進み、ごみ処理においても二酸化炭素の排出抑制や徹底したごみの削減、リサイクルが求められています。

本町では「標茶町ごみ処理基本計画」を策定し、ゼロ・エミッション（※）思想を基に、地域のご理解とご協力を得ながら再資源化、減量化の取り組みを進めます。みなさんの一層のご協力をお願いします。

標茶町ごみ処理基本計画は、下記窓口または町のホームページ（26ページ参照）で見ることができます。



（※）ゼロ・エミッション…ある産業の廃棄物を別の産業に利用して、廃棄物の排出（エミッション）をゼロにする循環型産業システムの構築を目指すものです。

例



■問い合わせ／役場住民課環境衛生係（1階③番窓口☎485-2111内線125）